

論文式試験問題集
〔一般教養科目〕

[一般教養科目]

以下の[A][B]の文章を読んで、後記の各設問に答えなさい。

[A] インターネットの普及によって人々は、様々な情報に簡単にアクセスできるようになってきている。その一方で、「知識」と「情報」を概念的に区分することに固有の関心=利害 (interest) を持つ人々も、いまだに存在する。例えば法律・医療・会計などの領域では、各種の専門家が一定の条件下で知識を独占的に運用し続けている。個々の学問分野において研究者が果たしている役割も、基本的にこれと同じである。すなわち研究者は、「斯界の権威」として学問的知識の生産や流通にコミットし続けている。

[設問 1]

一般に「学問的知識」が「学問的知識」であるためには、何が求められるであろうか。学問における専門家集団（いわゆる研究者のコミュニティー）の役割に触れつつ、15行程度で論述しなさい。

[B] インターネットの普及によって（地理的・空間的に）遠方にいる人々と、手軽にコミュニケーションを取ることが可能になってきている。その一方で、（地理的・空間的に）身近な人々との関係が、より疎遠になる傾向が認められる。人々が中間的な集団から解放されることを「個人化 (individualization)」と呼ぶならば、グローバル化は個人化と軌を一にしている。グローバル化=個人化は今日、社会の各所に多大な影響を及ぼしつつある。例えば家族や地域のコミュニティーは、その中で恒常的な解体圧力にさらされている。

[設問 2]

グローバル化=個人化が進行する中で、「国家」はいかなる立場に置かれているであろうか。具体的な事象を取り上げつつ、15行程度で論述しなさい。